

# 地域の人と交流

## 上尾看護専門学校 「ひまわり祭」

上尾



食堂で談笑する学生と来場者たち

楽しみにしてす」と話しました。2人は「高齢者への訪問を昨年10月から始めて今日が最後なんです。慣れてきてたくさん話ができるようになっていきなうになり、一人暮らしの方の様子を知ることができて勉強になりました」と話しました。

今年の実行委員長を務めた2年生の佐藤萌々子さん(20)は、「今年子どもたちに楽しんでもらえるようにポップコーンの無料配布を企画しました。たくさんの人に来ていただき、訪問している児童の子たちも顔を覚えてくれてあいつをし

上尾市医師会上尾看護専門学校で7月21日、「第30回ひまわり祭」が開催されました。

10〜40歳代の120人が在籍する同校では、授業の一環として地域の4か所の学童保育所や近隣の白樺団地、原市団地を訪問し、児童や高齢者の見守りを行っています。

同祭は、日頃の訪問などでお世話になっている地域の人々を招待し、交流する場として毎年開催さ

れています。今年も縁日や昔遊び、看護体験やアロマを使ったマッサージュなどのリラクゼーション、休憩できる食堂やクイズ大会など小学生から高齢者までが楽しめる催しを用意しました。

昔遊びのコーナーで子どもたちがにぎやかに遊ぶ中、学生の渡邊周郎さん(28)と二緒にけん玉に挑戦していた鈴木マキさん(84)は、「1年に一度のこのお祭りを毎年

交換をしています。訪問先で喜んでもらえるのはうれしいです」と話しました。

2人の学生、吉水さんと金子さんと食堂で談話していた70歳代の女性も、「世間話をよくして

います。今日は学生さんが訪問に来るんだわと思うと玄関を掃除したり、ほけ防止にもなります」と笑い、「2人ともとても優しいので優しい看護婦さんになると思いま

野澤祐子副校長は「地域に根差した看護学校としてどういう形で地域の方と交流ができるかを模索して訪問の活動を行っています。学ばせてもらいながら地域に貢献できたらと思います」と語りました。